

# 与論町と友情の絆を結ぶ

## 姉妹町盟約締結



↑ 姉妹盟約の協定書にサインし、硬い握手を交わす野元町長と与論町の南政吾町長（写真右）



← 与論中学校器楽部を先頭に200名を超える参加者のもと行われた記念パレード

6月7日、与論町中央公民館において錦江町と与論町の姉妹盟約調印式が行われました。錦江町からは、野元町長をはじめ行政・議会から10名と盤山自治会の2名が、与論町側は南町長をはじめとする約150名が参加しました。

終戦後満州から引き上げた与論開拓団が昭和21年に田代村に入植したのを縁に、昭和44年6月7日に与論町と旧田代町が姉妹盟約を締結し様々な交流活動を進めてきましたが、新たに錦江町との姉妹盟約を入植60周年の記念すべき年に結ぶこととなりました。

調印式に先立ち、役場から中央公民館までの約700mを、与論中学校器楽部を先頭に200人を超える参加者のもと記念パレードが行なわれ、沿道からは町民の皆様からの暖かい祝福の拍手がおくれました。

調印式では、野元・南両町長

のあいさつ、川越・町田両議長 の祝辞の後、姉妹盟約書に両町長が署名、交換し、堅い握手を交わし、最後に町旗の交換が行われ両町の揺るぎない絆が結ばれました。

調印式の後、与論小学校の「誠太鼓」のオープニングで祝賀会が始まり、郷土芸能、バンド演奏、そして「与論献奉」で焼酎がにぎやかに酌み交わされました。

8月には青少年体験活動事業「トワイライト2006」で約20名の小中学生が3泊4日の研修で与論町を訪れることになっています。



与論町伝統の「与論献奉」で焼酎が酌み交わされ、とても盛り上がりました